

令和5年10月30日

作成者：総務課行財政改革推進係

令和5年度 市川三郷町財政非常事態宣言についての住民説明会

－ 会議録 －

- 1 日 時 令和5年10月18日（水）午後7時30分から午後9時50分まで
- 2 場 所 市川三郷町生涯学習センター 2階 多目的ホール
- 3 出席者 【参加人数】約280人
【町役場】町長 遠藤 浩
副町長 依田誠二
教育長 渡井 渡
【事務局】総務課長 一瀬 浩
総務課広聴広報係 高柳咲子 内藤隼人 芦沢祐弥
総務課総務人事係 石原一彦
総務課行財政改革推進係 一瀬 勝 伊藤昌也
財政課長 森川規彦
財政課財政係 深澤正弘 来城 聡
財政課管財係 塩澤克哉
- 4 会議内容 (1) 開会
(2) 町長あいさつ
(3) 財政状況説明
(4) 質疑
(5) 閉会

5 会議経過

(1) 開会 午後7時30分

(2) 町長あいさつ

町長のあいさつの内容は、次のとおり。

本日は財政非常事態宣言についての住民説明会を開催いたしましたところ、夜分にもかかわらずお集まりいただき厚くお礼申し上げます。また、日頃より町政進展のためご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

9月19日に「財政非常事態宣言」を発出致しました。本日は、現在の町の財政状況をご理解いただくことを第一の目的としています。直接、町民の皆さまと相互理解を深めていきたいと思っております。財政状況の詳細についてはこの後説明いたしますが、恒常的な赤字体質と硬直した財政構造により、時代のニーズに合った行政サービスの提供が難しい事態となっております。現段階においては財政破綻ではありません。が、このまま改革なく推移した場合、7年後には財政破綻となる状況が予想されます。行財政改革の検討の出発点である町の財政状況について、まずは住民の皆さまにご説明申し上げ、町一丸となってこの難局を突破していきたいと考えています。

合併により市川三郷町となって18年が経過しましたが、その間取り組むべきであった公共施設の集約や事務事業の見直しができなかったことに加え、町税収入や国から配分される地方交付税の減少もあってこのような状況になったものと考えております。根幹には、旧町や地域ごとの地域愛があったのだと思います。改革を機に市川三郷町全体として資源の適正配分ができるよう転換をしていきたいと考えます。

現段階では、令和5年度から7年度までの3年間で、町の財政のみならず行政全般において抜本的・集中的改革を行うことで、持続可能な市川三郷町を目指し取組を進めてまいります。

本日は、主に現在の財政状況の説明を行います。今後の方向性は、仕事であります事業の最適化を推進する中で、従事者（職員）と仕事場（施設）を適正化していくことを考えています。行財政改革の目的は、持続可能な市川三郷町として、町民皆さまのウェルビーイング（幸福で充実した状態）の向上を図ることです。財政面やサービスの削減ばかりではないかと不安に思われている方もいらっしゃると思いますが、お金、人など資源の最適な配分を行うことで、例えば、

- ①リニア新駅に近く、自然環境にも恵まれた立地を活かした宅地開発や店舗等進出による「地域活性化に向けた施策」
- ②市川三郷病院、市川小学校体育館及び消防署の建て替え等による「町民の生命を守り、健康増進の更なる発展に向けた施策」
- ③六郷インターチェンジ周辺整備による「企業誘致」など

未来を見据えた新たな施策に着手してまいりたいと考えております。今、町民の皆様と

一丸となり行動を起こせば、必ず未来は開けるものと強い決意で取り組を進めております。今後も、行財政改革をはじめ町政につきましては議会を通じて皆様と情報共有しながら課題解決に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

私が町長就任後のこれまでの取り組みですが、3列目の行政改革の列をご覧ください。まず、就任直後に行った事は外部人材の登用でございます。本町外で活躍している方々をお迎えし、これまでなかった考えや仕組みを取り入れ市川三郷町政を変革しようとするもので、以前は、町議、町職員OBが就任していた監査員でした。金融関係者OB、県職員OBにお願いし外部人材による監査体制を構築いたしました。続いて、副町長設置でございます。私が、市川三郷町町長選挙に立候補する決意を固めたのは、街宣車が毎日活動するさなか、町への愛着です。財政再建に加え議会構成は承知していたものの、選挙運動に入ってから発覚いたしました官製談合事件により町の信頼回復、行政のクリーン化、入札制度改革など課題・難題が多く、知事にご相談申し上げ、例外的に県幹部職員を副町長にお迎えすることができました。また、神明の花火大会を町からの補助金や職員の出労を無くす「自走型」推進のため大会会長をやまなし観光推進機構からお迎えし収益性の高いイベントへと進化しております。そして、3段目でございます。業務量調査であります。全ての職員の仕事を調査いたしました。これを令和4年度に分析し、令和5年度、業務量の多い部署へ配慮する人事と行財政改革を専門的に取り組む行財政推進係を新設いたしました。

4列目をご覧ください。財政改革についてであります。就任後、事業実施計画について説明を受け、令和4年度当初予算に反映いたしました。給付支援型から公共支援型への転換でございます。対象者が重複する事業、対象者が極めて限定的な事業、当初の目的を果たしている事業を縮小し施設の改修事業や通学路整備などを重視しました。今年度は、国民健康保険税の適正化に着手しています。国民健康保険加入者だけでは会計を完結することができず他の保険加入者からも流入していた会計構造にメスを入れました。そして、8月までに行財政推進係が推進する体制も、町三役などで構成する推進本部、課長らで構成する幹事会、係長以下で構成する検討部会、学識者・金融関係者・企業経営者・一般住民で構成する推進委員会が設置され推進体制が構築され動き出したので、今般9月19日に財政非常事態宣言を発出した次第でございます。

新しい地域経営の裏面2ページをご覧ください。目指すべき姿はGDW町民の皆さまのウェルビーイング。つまり、幸福で充実した状態の向上でございます。町を一つの会社と見立てた施策マップです。人材を育て地域の財産とします。産業活性による所得向上、企業の業績向上などによる強い地域経済に裏付けられた財政を未来へ投資する施策の推進に充当する持続可能な市川三郷町を目指しています。

(3) 財政状況説明

資料に基づいて総務課長および財政課長より説明。

(4) 質疑

参加者からの質疑は次のとおり。

－ 発言者 －	－ 発言内容等 －
参加者	<p>質問をさせていただきます。第一点目なんです、例の町長は2021年10月に無投票で当選され町長に就任をされました。これは2020年に地方交付税による特例措置期間が終わった後でございますね。そうしますと、今まで7回の議会がありました。2021年の12月議会、2022年3月、6月、9月、12月議会。2023年の3月、6月、9月の議会、7回の議会があったわけですが、予算編成ができるわけですよ。それなのに、非常財政非常事態宣言の中では、本町においては、合併による地方交付税の段階的縮減により、自主財源が減少しているにもかかわらず、十分な見直しがないまま、従前通りの行政経営が維持されている状況にありましたと、まるで他人事ではないですか。そう思うのなら、なぜ自分が思っている施策で予算編成をしなかったのですか。まずその点について伺います。まだあります。財政面であなたは、まず経常収支比率を問題にいたしました。これは先ほども説明がありましたように、実際の義務的な支出に対して、一般財源がどの程度使われているのかという比率なんです、市川の場合98.1%、全国ワースト11これを聞いて町民の皆さん何と思いますでしょうか。「市川は夕張になっちもうだけ。」そんなことですね、そういうことを言って不安をあおりました。町民はね、経常収支比率と言われてもね、よくわからないんですよ。しかしねその、この町の財政がどうなっているかという財政の指標であります、健全化判断比率では、町にはイエローカードは出ていないんですよ。実質公債費比率は、将来負担比率のことなんです、そしてまた、2021年の実質単年度収支は7800万円の黒字2022年の実質単年度収支は2億500万円の黒字なんです。そして基金も財政規模に見合った十分な基金というのは貯金ですね。それは、財政調整基金が19億円減債基金は3億円あるわけです。今町は行財政改革に着手をして、事務事業や会計年度任用職員の見直しとか補助金とか負担金の見直しなどの計画を作りつつあるわけですね。それなのになぜ今、宣言を発するんですか。この宣言が发出されるということによって、町民の様々な要求を財政が厳しいという一点で実現しない、また削られること。狙ってるものであってはならな</p>

いと思っております。また、特別職の皆さんの給料の減額をする。私達はこれだけ身を削るんですから、あなたたちも我慢するんですよと。言われているも同じではないですか。私は町長に求めるのは、今すぐ宣言を撤回して、町職員、議会、町民に正しい情報を出し、町民の納得を得た中で、町民の思う町政をされることを願います。以上です。

町長

はい。もう一度申し上げます最初の質問です。2021年に無投票当選をしたということでそれ以降、町長就任後、これまでの取り組み1ページをご覧くださいと思います。まず就任直後に行ったことは外部人材の登用でございます。これまで、町議長職員OBが就任をしていた議員でございましたが、私が就任直後に、金融関係者OB、県職員OBをお願いをし、外部人材による監査委員体制を構築をいたしました。続いて副町長選任をさせていただきました。設置をさせていただきました。これは市川三郷町の立候補する決意を固めたのが、街宣車が毎日活動をするさなか、街への愛着でございます。財政再建に加え、議会の構成については承知をしておりましたが、選挙運動に入ってから発覚をいたしました。官製談合事件、町の信頼、行政のフリー化、入札制度対策など山積する課題が多く、知事にご相談を申し上げ、町村では例外的に県間職員を副町長にお招きすることができます。そして、財政改革についても、事務事業の見直しに着手をし、令和4年度当初予算で給付支援型から公共支援型へ転換をさせていただきます。バラマキを止めてみんなで使えるものへの配置転換をしたところでございます。対象者が重複する事業対象が極めて限定的な事業当初の目的を果たしている事業を縮小し、施設の改修や通学道路の整備などを重視をしたということでございます。今年度につきましては、国民健康保険税の改正に着手をさせていただきます。そういう改革は推進をさせていただきます。また2点目でございますけれども、私達の資料につきましては、しっかりとした目標の中でお示しを申し上げます。今の現状がこのような現状であるということは住民の皆様とともに、同じ立ち位置で、この町の財政を見ていただきたい。これは私のお金ではありません。皆さんのお金皆さんのお金をどう使うか、これから将来の子供に向けてどういうふうに使っていくのかってことを今議論をさせていただいているところでございます。その根拠となる数字は全て事実でございます。この非常事態制限を撤回せようということでございますが、その考えはございません。以上です。

参加者

よろしく申し上げます。先ほどの説明の中にもありましたようにです

ね、町の財政やっぱりここですね、自主財源の確保が大変必要だと思いますが、将来的に町自主財源の確保の具体的な案がありましたら教えてください。また職員ばかりじゃなくてですね、町民の皆様の良い意見を聞きながらそういう手段の確保にも努めていただきたいと思います。第一点目です。2点目。町民の高齢化に伴いですね。今までの町の土地と、若者の定住を促進するための補助金、若者の定住化促進事業、今まで通り来年度の助成予算に計上するのか教えてください。町の活性化には若者が多く、町に住んでくれることが必要だと私は思います。以上、お願いいたします。

町長

はい今の段階、具体的な内容については差し控えさせていただきますやっぱりそのあたりですね、こういう検討をしておりますので、個別にはちょっとご回答させていただきませんが、1-2ページのGDWの部分をご覧くださいと思います。自主財源確保ということなんです、私どもといたしましては地域の経済と、それから町の財政というのは繋がっていると対であるというふうに考えてございます。つまり、地域の経済が活性化をしなければ、町の財政も、先ほど言われました自主財源も増えていかないという考え方でございます。今この市川三郷町にございます約300の事業所に向けてですね、同じテーブルについて将来の目標を決めよう、将来を見ていこうということで、ラウンドテーブル市川三郷町を、これを昨年度から始めまして、都合4回、また今度11月にもそういった呼びかけをさせていただいており、これは目的は企業の業績を伸ばして、地域活性に繋げていこうということで私達が行っている最新の情報をお伝えをし、皆さんで議論をしていただくと、そういう場を設けてございます。それからまた神明の花火大会など町の観光に資するようなことがございますけれども、これをもっと活性化をしてですね、収益性の高いものにしていく。またよそに展開して行ってですね、よそから誰かが選べるような、そういうことを今考えてございます。また地域の地場産業も、今大変な厳しい状況になってございますが、これもトップセールスによりまして、新しい販路の開拓ですとかそれから新商品の開発ですとかできないということでございます。今日の山日新聞に私のコラムが出ておりましたけれども、オマーンという中東のGCC六か国の一つでございます。天然ガスが豊かな国なんです、そこと交流ができてここに来年秋に神明の花火大会として打ち上げというふうなことも計画をされてございます。そして10月27日信玄公祭り第50回が開かれますけれども、これも神明の花火 in 甲府城ということで、去年

から信玄公祭りと神明の花火がコラボレーションしておりますので、そういうことですね、地域の活性化を外に向けて発信をさせてもらっております。いろんな方法でこの地域をPRをしてまた興味を持ってもらって、それが関係人口を作って、これをふるさと納税などに転換できていければというふうに思っております。自主財源につきましては、いろんな方法が考えられておりますので、個別具体的なことにつきましてはまた改めてご説明を申し上げたいという思います。

参加者 ありがとうございます。2点目は。

町長 これもちょっと個別的なものなのでお答えはできませんが、考え方としては、将来に対して投資的な事業につきましては、積極的にやらせていただきたいというふうな考え方でございます。

参加者 ありがとうございました。

参加者 私は細かいことはよくわかりませんが、今まで合併のときからの市川三郷町は危ないと言われる問題がありまして、中央市の方と合併ができるかというような内容を聞いてまして、それから何年も経ってますが、実際そしてこの赤字体質の顕在化でこういう状況になっているんですよ。こういう内容のことも全て分かっていたことでしょう。それを今までほっといたからこういうことになる。私は思います。なぜこうなったかってことが一つの原因がわからなければ、新しい手を打てません。それが一点ということではありますが、次に13ページ、丸の図ですね。5%の改革を経費を執行すると、今は1.8%これはどこ部分とどこの部分をどうやって減らすんですか。例えば、公務員を民営化するとか、極端に言えば、そうすると、縦の繋がりだけでなく横の繋がりがあります。これからは縦線の仕事ではなくて、横の繋がりを持ちながらやるのが合理的になります。そうすると、三つは減ります。夕張みたいになれば3分の1に職員給料になるんです。ただし、将来は何もありませんね。そういうことにならないために、これをなぜ派手に実行に移していく。100%達成できますか。計画はこうだったけどいや、あれが違うこれが違うっていうの答弁になるんじゃないですか。今までも信頼してきてお願いしてきて、選挙して、こうやってやってきました。それが崩れることなんですよ。身近で町長になったときに、なんで副町長をつけたか、体制が厳しいだったらその1800万っていうのは使わなければよかった。

何か変わりありますか、新しくつけて。人件費を減らしてどうのこうのなんてそんなものはね、やめてください。逆に取ってください。それなりの仕事をしてほしいです。それが筋です。あれを収めたからみんなが協力しようこんなとんでもない話です 100%いいえ、能力があれば 120 でもいいですよ。そういうトップは決断をしてやってほしいです。そしてそれに責任をとってください。以上です。

町長

まず最初ですね合併後、わかっていたのかってということなんですが、これは 7 ページの図を見ていただければおわかりだと思いますけれども、合併後はこういうふうに財政支援措置がございまして、これが平成 28 年度からだんだん縮減されていくということございまして、ここから現在が落ちてきた、目に見えることだったのでございます。それから 5%、13 ページの件でございしますが、これもご説明申し上げました通り、12 ページにございまして、何をするのか、行政のスリム化、それから事務事業の総点検、全ての公共施設を対象としたあり方検討の実施をしてこういった数字を目標に取り組んでいるということございまして。それから副町長の件でございしますがこれは当然人材としては素晴らしい人材でございまして、先ほど申し上げましたように、財政削減、こういった問題、この状態まで持ってきたってというのは、本当に副町長のリーダーシップ、町の職員の中のやり取りの中で横連携のことなども、取り組んでいただいた成果かなというふうに思います。また官製談合事案等も信頼回復や行政のフリー化、入札制度なども、入札制度は主に副町長が全てやっていただいたというふうに思っております。そういった人材でございまして、市川三郷町としては大きな財産を得たというふうに私は思っております。それからもう一点、これはいつまでやるのかという点でございしますが、今年度これも 12 ページにございまして令和 5 年度、今年度ですね、本年度計画をして令和 7 年度まで、集中的、抜本的改革実施をするということで、実行していく。そして令和 7 年度には、次は政策的経費が 5%以上出るような、そういう目標を持って取り組んでいくということございまして。

参加者

内容的には総論的にはそういう話になると思います。だけど、私の聞きたいのは、13 ページの政策的経費とかありますし人件費が 23.5 とか、こういう人件費については何%というのを聞きたい。一つ一つの項目について、それは現段階は計画段階から答えられない。実際にこの 5%をクリアすれば、市川三郷町は安泰ですか。

総務課長 ただいまのご質問ですけれども、個別のものについては先ほどからお話いただき、聞いておりますように、現在進行形で検討中でございます。どこか一つに偏ってないかということはございませんし、ただ、全体として必要な施設を必要なだけ継続して運営していけるための人材は必要だと思っておりますし、そういう人間は我々も含めて一生懸命皆様の声を聞きながら頑張っってやっっていくってことが、この5%を生み出せることに繋がる理解をしておりますので、ご理解いただければと思います。

参加者 100%信用してもいいですか。

総務課長 100%ではなく（経常収支比率が）95%に達成できるかということでしょうか。そういうことではなくてですか。

参加者 この数字で行けるかということをお100%信用していいですか。

総務課長 はい。この（経常収支比率が）95%という数字がですね、もう何もしななくてももうばっちりなんだよっていう数字では正直ないんです。ですから、そのまま引き続き令和8年度以降も継続をして、我々が努力をしてまいりたいと思っております。それで、この経常収支比率も90%とか、80%ぐらいを目指して今後も努力してまいりたいと思います。その姿はぜひ見ていただきたいと思います。

参加者 達成率は100%。

総務課長 達成率、頑張っってやっっていますので100%を目指します。出来なかつたってことは僕ら考えていません。やれることを目標に頑張っってやりたいと思います。

参加者 町長が先ほど言いましたけど、皆さんのお金で実際はやってるということですが。国の政策もそうかもしれないし、それに右に習えの政策ではなくして、独自の政策を願いたいということですが。というのは、国は税金でいいですか。自分の金じゃないから勝手にいろんなことに使えるんですよ。ね、いやいや使ってるんですよ、現実。そして今度の衆議院が解散するかしないかわからないけれどね、そうい

う形でも見ててもちょっと歯がゆいところいっぱいあるんですね。だからちょっと、ましてや町の中のものが信用できるかって、信用はできませんよ。いずれねみんな国民に戻ってきます。今は制作してると、それくらいの考え方でしか今国もやってないんですよ。結果がね、結果が分からないとダメなんですよ。私だって家のことでやはり苦労してます。自分のことを誰も助けてくれませんよ。だからそこにたいへんお金もらってる人たちをもっと取ってほしいです。成績主義でも何でもいいから取って欲しいです。だから町長は、撤回してください。返済を。100%取ってください。以上です。

町長

はい今のご意見ごもっともだと思います信用っていうのはやっぱり私達はしっかり実行していかなければならないというふうに信用は私達がやった姿を皆様方が見て得られるものというふうに思っておりますので、今、役場一丸となってこのことについて議論をしてございます。今年度中に方向性を示します。示させていただきますが、これをもとに来年度、再来年と、これを実行していくということでございます。今、目標が5%ということで申し上げましたけれども、この目標に向けてぜひ努力をしてまいりますので皆様方にもご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

参加者

私は市川三郷町に移転しまして5年ほどしか経っておりませんので、ここにいる皆さんに比べ、市川三郷町知らないんですけれども、先ほどお話にありました若者の定住促進で移住してきたところで、まず最初に町長にお話が、一番大変な時期、町長を引き受けていただいて、市川が大変な時期に支えていただいているので感謝申し上げます。私、娘が小学校保育園ですけれども、運動会お遊戯いつも顔を出していただいてありがとうございます。質問の方なんですけれども資料の15ページにありました行財政政改革の現在策定予定という。けれども、実際この年内策定しまして、いつ頃、どのような形で我々の方に返していただけるのかっていうところがまず一つ。あともう一つですねその上にあります15ページ、公共施設のあり方検討というところなんですけれども、今後実際どのような形で、何をどのぐらい削っていくのかっていうのが今のところ、もし何か計画的なところが決まっているのであれば、教えていただきたい。って言いますと、もう今私の娘が通っております市川南保育園が今年度で閉園、統合されるっていう話が今月あたりに急にありまして、私の娘が通う保育園がなくなってしまうんですから、ちょっとその

辺で不安になりましたので、お伺いしたいと思います。

総務課長

ご質問ありがとうございます 15 ページにあります年内に策定をしてということでございますが、議会の皆様にもご承認をいただいた後であれば、年明けには皆様にご報告をさせていただきながら、これからこういう方針で皆様とともにやっていきたいということをお示しをしながら、皆様のご意見も参考にして、皆さんのコンセンサスをいただく中で具体的に進めていきたいというふうに思っております。どのような形のもを今、大体想定されているかということ、それを今やっている最中でございます。それらを総体的なものになるかもしれませんが、年明けには皆様にお知らせし、またこういうような住民の皆様への説明会みたいな形をとって、広くお知らせをし、これから皆様とともに考えていきたいというふうに思っております。

町長

南保育所の件でございますけれども、これはこの行財政改革とはまた別でございまして、実はあの例は4年3月の議会の方で方針についてはお示しをさせていただいておりました。市川南保育所のあるところが、土砂災害特別警戒区域ということでございます。またその上にですね、くぼ地といいますかちょっと低いところに位置をしているという関係もございまして、そういう環境の中で子供たちの安全、また従事する職員のその労務環境等々を考えた上で、早い段階で何とかしたいなという考えは持ってございましたが、いろんな状況等、対策、対応等を考えて議論している中でこういった非常事態宣言ということになるわけでございます。いろんな考え方が交差をしてしまったんですが、本来私どもとしては、子供の生命を守ることそれから、職員の労務環境を守るという観点から、市川富士見保育所の統合ということで、考えていたんですけれども、そういった考え方がずっと違うので、またこれは今、個別にですね、保育所の方で個別に担当の皆さんと対応をしているふうに思いますので、そちらの方で一度お話を聞いていただければ対応させていただきたいというふうに思います。もちろん次のシートも大事でしょうし、子供の生命も大事ですので、そういったことを再度議論しながら今検討をしておりますのでそちらの方もよろしくお伺いしたいと思います。

参加者

11月の段階では決まっていたということですか、令和4年12月で。

町長 まだ決まってるっていう状況ではなくて、方針として私達は子供の安全、また職員の労働環境ということ考えたが、早いうちに統合した方がいいだろうという、そういう判断はしております。そういうことですね、まだ決まってる状況ではないので、その保護者とそのメリットも相談の中ですね、結論は出していきたいというふうに考えております。

参加者 ちょっと今回、あまりにも急な話で、その話が10月4日で、来年度から保育園がなくなります。来年度から娘の通う保育園なくなります。あまりにもちょっと衝撃的な話だったんで、極端な話再来年市川南小学校なくなります。なんていう話にならないかっていうのが僕は不安なんです。極端な話、大塚小学校が再来年なくなりますとか、そうならないために、同じ轍は踏まないでほしいというか、なので決まってることがあるならば事前に計画的に話をしてほしいですし、いつどの段階でどういう統合の計画がありますという計画書も事前に示していただけたらなと思います。よろしくお願いします。

町長 先ほども総務課長からお話を申し上げたと思いますけれども、この件につきましては、まず議会へもお示しをさせていただいて、そして住民の皆様ともこういうふうな設けさせていただき、公表をさせていただきたいと思います。その上で進めてまいりますし、もちろんいろんなご意見がございます。最終判断は私どもがご提案を次回ご提案させていただくというふうになりますけれども、そういった議論、今日もアンケートございますので、思いの丈を書いていただいてすね、それを参考にしていきながら今後進めていきたいと思います。もちろん先ほど言ったように、来年無くなりますよなんていうことは、そういうつもりはございませんし、十分に議論させていただきたいと思います。

参加者 市川三郷町です、人口が毎年減っております。ですから今回のそういうこういう事態がなくてもすね、行財政改革は推進をしていただければならないと私は思っております。そういう中でやはりいろんな人のね、被害が出ると思いますが、そういう利害関係を設けることなくすね、設けなくて、全般的な話の中でスリム化っていうんですかね、行財政改革を推進をしていただきたいと思います。これはトータルでこういう事態があったからするんじゃないで、もうやらなければならない時期にということをしてすね、町民の皆さんにご理解していただいて、そして

行財政改革を進めていくんだとやはりね、一番問題なのは、一般管理費っていうかね、固定経費だと思うんですよ。一番そういったところに手をつけたそれも含めてですよ、全般的にそういったものを含めて全般的に考えていくとそういう偏った形の中です、スリム化じゃなくて、全体を少しずつ進めていくと、そういう方策をね、取っていただければ、不公平ならなくて済むんじゃないかないうふうにそれでもう一つはね、やはりメリハリをつけてもらいたいというのは、さっき、先ほど一つお話のテーマだけれども、若者の定住促進のね、補助金、こういったものが減っちゃうと、もう市川三郷町に定住したいという人がいなくなってしまうんですけど、これまた人口減少の元になりますから、こういったものは歯を食いしばってでもですね、何とか予算を継続していただきたい。そういうメリハリをつけた中でも、行財政改革ですね、推進をしていっていただきたいなと思っております。

総務課長

ご意見本当にありがとうございます。まさに私どもが考えている通りのご提案をいただきましたので、本当に心強いと思います。聖域なき行財政改革に取り組んでいる、そういうふうな思いでございます。偏っていないということをご提示いただきましたが、まさにその通りの取り組みを考えております。それからメリハリをというお話をいただきました。それから先ほどから町長も説明の中で、長い間懸案事項である事業にも実現できるようにということこの縮減をしている財源をうまく活用して、将来にわたって市川三郷町が元気になっていけるような、そういう事業展開を考えていきたいと思っておりますので、皆様もぜひご理解ご協力をいただければと思います。よろしく願いいたします。

参加者

ありがとうございます。

参加者

大事なのはやっぱり、人間はですね、環境に慣れてしまうんですよ。でも、やっぱり違った目で見えていかないと、その設計図がね、使えないと思うんです。その点副町長にはすごく期待している。だから、新しく副町長に来てもらって僕はすごくいいことだと思っていまして、違う姿勢で多分見てくれている。だからやっぱりやるのは実行するのは町、ですからやっぱり意識改革をしないとうまくいかないと思います。そこをぜひ僕はやっていただきたいと思います。

総務課長

ありがとうございます。参加者様のご意見もですね、私としてもまさ

にその通りと思っております。この意識改革、それから職員のスキルアップ、そして外から市川三郷町をしっかりと判断できる目線を持った職員を育てていくというためにも、町長や山梨県の皆様のご支援をいただきながら、我々も県職員の方（県の方）に職員を派遣させていただき、交流で派遣させていただいて違った組織から市川三郷町を見るような職員を育てている最中でございます。まさにそういうものの改革に着手をし始めたというところでございます。遅かったと言われればそれはもう本当に誠に申し訳ないというその一言に尽きますけれども、何とかその数年前から、2,3年前からそういうことには準備をしておりましたので、これから頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

参加者

財政課長に質問なんですけど、収支のバランスっていうのはありますよね。これは本当に崩れかけると、ドッと崩れたわけですよ。今こうやって現在まで赤字が続いたっていうことは、平成なのかも何かちょっと言ってましたけど、平成なのか。令和になったのか、それとも何年なのか、それが知りたいっていうのを一つ。それから、これからはもうこうなった時点で、私達に一般の人たちにも、これからはね、ともに町を支えていかなければやっていけませんので、それを具体的にどのように私達にも例えば税金とかですね、そういうことが関わって来るのか、その辺をちょっと具体的に説明をしていただきたいということと、それから何でもそうなんですけど、やっぱり私達も市川三郷町に住んで、とてもね、住みやすく、これからも住んでいきたいって、その中でもそう言ってますから、だから町を支えるためには皆様も一般の方たちにもう少し声をかけて、どのようにしていったらいいかってことを相談していただきたいと思っております。そして意見を少しは聞いていただきたい。上の方達でやってるんでなくて私たち年寄にも少しはね、支えることがね、あると思っておりますから、ですからそういうことをぜひ町長のお願いしたいことです。それから最後にスポーツとか、それからイベントと、それから趣味ですね。それをみんな見直して予算のカットカットなんて言わないようにこれからも続けられるように、お願いしたいと思っております。以上です。

財政課長

お答えさせていただきます。まず財政状況についてでございますが、先ほどの資料の3ページでございますが、こちらが原因背景ということになります。歳入面における自主財源の減少といたしましては、高齢化

人口減少に伴う町税収入の減少、合併による地方交付税の段階的縮減それから歳出の硬直化の原因といたしましては、公共施設の集約不足。事務分掌等の行政経営による事務事業の見直し不足するということでございます。したがって時期といたしましては、合併後、徐々にですね、こういった現象が起きていたということでございますので、徐々に進行してきたと認識しております。また、その進行の顕在化の一つとしては7ページの資料になります。恒常的な赤字体質の顕在化として、合併による財政支援措置の枯渇があります。その顕在化は下のグラフの右の矢印のとおりですが、このタイミングで合併算定替えの措置が終了し顕在化していったということになります。以上で、1点目のご質問に対する回答とさせていただきます。

総務課長

その他の質問にお答えさせていただきたいと思います。ともに街を支えましょう、この街住みやすい街なので、これからも町に住みたい、(とのこと、) 本当にありがとうございます。私も町民の1人でございますし、この町大好きですので、長い間住んできましたが、これからもずっと次の世代とともにこの街で住んでいきたいというふうに思っておりますが、そのためには、今回こういった宣言をさせていただいた後に、我々として立て直していく方針を立てたところでまた皆様方にご相談を申し上げて、共にいろんなことを考えていきたいと思います。また、今日はまだ詳しくお話しできませんが、(検討中ですのでお話しできませんが)、それぞれの個別のことに関しては、各担当課が皆様と等しく相談をさせていただきながら、実際にどういうふうにやったら、市川三郷町としてこれからも続けていけるのか、そういうことを相談させていただきながらやっていきたいというふうに思います。またイベントの廃止とかですね、お話ありましたがそれも今の段階ではどれとどれっていう話はできませんけれども、先ほどの質問にもありました通り、平たく全てのものを少しずつ皆様にご協力いただくというスタンスで進めたいと思っておりますので、何かスポーツのこと何もできなくなっちゃったよ、とかそういうことはないようにしたいと思います。ただし、もしかしたら、皆様が何かやられていることが、しばらくお休みをさせていただかなければならないということもあろうかと思っておりますので、ぜひその辺はご理解いただければと思います。よろしく願いいたします。

参加者

はいありがとうございます。

参加者

お願いします。せっかくの機会なので、マイクを握らせてもらっています。率直な感想として、先ほどの方と近い意見が多いんですけども、率直な感想としてここまでどうして手をつけなかったのかなっていう思いがあります。何かね、大きい店があってすごい儲かってるとかそういう感じではないんで、何か削減をしたりとか、そういうことをしなければならなかったのかなっていうのは町民の方も思ってると思うんですけども、率直な感想として、もっと早くできたことがあるんじゃないかなっていうことが1点。2点目は、こういったピンチを町民皆さんに共有したということは、自分は潔かったかなと思っています。ピンチをひっくり返すときとチャンスがあるっていうふうに今まで生きてきた中で思いながら生きてきたので、チャンスがあるんじゃないかなと知っています。なのでこのピンチをチャンスに変えていかなければいけないと思っています。それには勇気を持って、いろいろなことを行なっていかなければいけないと思っています。それは様々な縮減であったりとか、計画であったりとか、思い切ったことも必要になると思います。その際には、ときには弱い立場の人が出てきてしまったりとかもあると思うんですけども、バランスを取りながら計画的に進めていただきたいなっていう思っています。先ほどの方も言っていたんですけども、町民として、こうやって意見を言って、言っているだけじゃなくて、町民自身も今何ができているのかっていうふうに思うんですけどもやっぱり町民自身も町を支えていかなければいけないというふうに私は考えます。隣町で働いてるんですけども、田んぼが綺麗だったりとか、大きいスーパーがあったりとか、魅力的だなんて感じる部分がある一方で、この町の道を見てみると草ボーボーだったりとか、そういったところがどうなのかなっていうふうに感じる部分もあります。私は幼稚園の子供が2人いるので、夏とか、時間が取れるときは、町を歩いて子供たちとゴミ拾いをしたりとか、この町が良くなるように、この町を好きでありながらできることをこれからもしていきたいし、考えていきたいです。祭りに参加したりとか、散歩したりとか、人の賑わいとかそういうものを自分から起こしていきたいなっていうふうに思っています。最後に、この町は私も大好きです。一度東京で就職しているんですけども、本町帰ってきて家を建てて過ごしています。今ここにいらっしゃる方々もきっとこの町のことが大好きだと思いますので、お祭りがあったり、スポーツはバスケットやったりとか、いろいろあったんですけど、本当に過ごしやすい街だと思っています。もう一度、魅力ある市川に変わっていくように願って、自分も暮らしていきたいなと思っています。以上です。

町長

ありがとうございます。本当に確信の部分かなって思います。なぜもっと早くできなかったのかってというのは、先ほど一番最初のご挨拶申し上げたように、それぞれ地域の皆さん、本当に好きな方が多くて、なおかつ地元地域ずっと住んでる地域というふうなことが強かったということが私は現にあるかな、それが故にいろんなことが解決ができていなかったというふうに先ほど言われたようにピンチをチャンスに変える、まさにそのためにこの財政非常事態宣言を発出させていただきました。体制が役場の体制ができましたので、これから改革に向かって取り組んでいくということでございます。そして最後、私は大変感動しましたけれども、自治の原点というのは、自発性と冒険でございまして、これが自治を支えている出発点、やはりこういったことを通じて、政治とか、こういう組織っていいですかね、集団とかの中に入ってきていただいて、そしてこういう提案の議論をしていただくってというのは非常に大事なことだというふうに思いますので、ぜひそういう普段の中です、地域の行事に加えていただくとか、あるいはそういったことにも見ていただくとかしていただければ、さらに発展していくのではないかなというふうに思った次第でございます。ご意見いただきましてありがとうございました。

参加者

12 ページに具体的な取り組みがありますが、私がそこを読むと、全然具体的じゃないなと思います。全ての公共施設を対象のあり方検討というところに例えばこういうこと、事務事業の総点検っていうところでは今こういう総点検をしていますよってということがあると具体的だなと思います。そこを今までのお話で、公開できないということですので説明は必要ありませんが、市川三郷町のホームページを見ていると、なかなか情報が探しにくいです。やっぱり若者を取り込むには SNS を使わないと、情報発信が難しいと思います。私は、市川三郷町の広報誌が好きでよく読むんですけども、それをもっとホームページや SNS を使って発信してほしいです。私も市川三郷町に嫁いできたので県外からの移住なんですけれども、市川三郷町の 1 丁目の方達はとても良い方で、子供の世話とかも、いつでも言ってねって言ってくださるし、子育てがとてもしやすいです。なのに集まらないってことは、広報が不十分なんじゃないかなと思ってます。去年だったと思うんですけども、中央市で子育て世代奨学金を補助しますっていうニュースで、LINE ニュースで入ってきたときに、中央市に行きたいなって思いました。やっぱりそうい

うところで子育て世代を全面バックアップしますよっていうことを、ホームページのトップのページでいっぱい発信していただきたいと思えます。子育て支援センターにも私は育休中にずっと通っていて、町長にも来ていただいて、一緒に遊んでもらったりもしまして、そこではとても育休の時間を有意義に過ごすことができ、いろんな方たちとお話もできてとても楽しかったです。そういう施設が十分にあるのにもったいないなと思えます。これの情報をもっともっと発信することで、たくさん人口が集まり、財源が確保できるのではないかなと思えますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

町長

はい。すいません情報発信については本当にあの行政っていうのは、5W1H しっかり取らなければいけないって今まで呪縛があつてですね、大変に文章が長かったり、その使い方などがうまくなかったりっていうことだと思えます。今回こういう宣言を発出したことによってですね、いろんな方が何とかしたいということで問い合わせ頂いておられます。その中にもう一つ情報発信については、アイディアがあるというふうなことで、ご提示いただいております。いろんな研究をしながら今後進めていくってことしかございませんけれども、いろんな方法で情報発信については、行っていきたいと思えます。

総務課長

ご意見ありがとうございます。私どもとしましてもですね、町のホームページで情報が探しにくいということは今現在認識をしておりますが、その前のときのホームページにする前にですね、ちょっと動画を長く使ったりしたところ、非常に攻撃に遭いました。どちらを大事にするかと言われますと、町の個人情報とか非常にリンクしているものですから、やむなく・・・、そのどちらを選択するかといったときには、安全性の方を選択したような経緯がございます。その後は現在、だいぶ年が経ってきていますので、新しい展開も考えられると思えます。また何かご意見等をいただければありがたいと思えますし、子育ての進んでいる町では広報誌、お母様方がページを預かって、情報発信されているところもございます。そういうところもございますので、もし可能であれば、本当に周りの仲間の皆様とお声掛けいただければ、一緒にそんなことができるかなというふうに思えますので、またよろしくお願ひします。それから遅ればせながらなんですけれども、町のラインやインスタでちょっといろんな情報を最近はずっと出させていただいております。ぜひその辺をご注目いただきまして、何かお友達登録した中で、もっとこうした

方がいいよっていうことを、機会があれば、ぜひお話いただければなと思いますのでよろしく願いいたします。

参加者 はい。ありがとうございます。

参加者 よろしく願いします。私ここに引っ越してきた結果、出身はこちらなんですけど、4年目になります。久しぶりに帰ってきたっていう形なんですけど、毎年広報誌で財政を見て本当にひどい町だと実は思ってます。初めてこんな町見たかなというぐらい、相当ひどいです。この説明資料10ページを見ていて、ずっと思ってるんですけども最終的に令和13年82億円ですよ。その場合は3年が98億円見通しですから、なんですけど一番大きいのは、歳入は毎年減っていて、大体4億円から5億円減っていますので、あとは将来についてもこれはおそらく減ってるんだろうなと思っています。ということは、毎年その分を減らしていかなければやっていけないんですね、これは交付金も減って無いし、一番大事なのは調整基金残高はもうゼロになるんですね。はい。つまり、お金がないんで、どんなにスリム化しようか、なにしようか、毎年していかなくちゃいけないっていう事なんです。でもこの税収が正しいかどうかわかりませんが、要は人口が増えない限りは、減ってますよね。あるいは、この町に産業が（新たに）行われない。なんで、町民の収入が増えない、ここが一番大事なところで現状保持をするためには、税収を現状維持させなくちゃいけないんですけども、結局予想しかないんです。そうすると10ページから12ページに具体的な取り組みどうやって税収を増やすか書いていない。先ほどおっしゃったんですけど、人を増やすか産業を起すか、収入をここでやっぱり農業があったりとか、工場あったりとかありますけれども、増やすしかないです。町の財政からの支出を減らすっていうのはこれ取り組みだと思うんですけど、収入を増やさない限りは毎年減っていくんですからね。やっぱりスリム化は永遠に続くような、今この説明資料からは未来がないと言っている。すいません、私会計屋なので、仕事柄予算が見れるので、つまり、将来のない町にだんだんなって、人口が減っていけば、税収減るだけなんです。多分おわかりになっていますよね。そこが多分一番子供たちで大きいところかなと思う。最後ですが、私ずっとこれ見てて思ったんですけど、先ほど質問もありましたけど、要は合併して交付金をもらった段階でこれをやっていかないといけないときに、今の町長はよくぞを宣言していただいたと思うぐらいです。もうそれじゃ遅いんですけども、そもそも10年以上前からそ

れをやらなければ、現状が維持できない町なんです。かなりひどい体質なんです。それは町長にそうじゃなくて、これが最初からわかっているのは財政課長。多分歴代の方たちは分かっている。将来こうなるとわかって、わかって何も手をつけてないこれからつけます、とおそらく10数年前からそれはもう見えたことだと思うんですね。人口も減っているし税収も減っていくと分かっていたはずなんです。これで7年間でどうのこうのって、7年間で税収毎年、5億円ぐらい増やさなければ、現状維持できない、その辺は質問ではない、これから検討していくとすれば、その12ページの具体的な取り組みの中で一番大きいのは、要は減らすことなんです。しょうがないです。維持なんてとつてもできるような状況じゃないです。たかだか100億円ぐらいの収入に対して毎年5億円、最終的には10億円減ってですね、それもなお徐々に4億円から5億円減っていくってことは、現状維持ができない状態。なので、一番大きいのはこのスリム化の他にどうやって税収を増やすか、一番簡単なのは、ふるさと納税かなと思ってるんですけど、特産品がない、あるいは少ししかないですね。ふるさと納税はまたこれが欲しいなって思うんです。でも多分そういう政策してないです。農家任せという感じ。町がいかにも町にしかないものを売り込むことができるかどうかなんですけど、それを作ってる人たちであって、品質が一定化されていなければ、多分美味しくなければ次はない。ちょっと聞いた話ですよ。実際どうかわかりませんが、シャインマスカットが一番の税収になっていると思ってるんですけど、シャインマスカットの特産地じゃないんです。市川三郷町のシャインマスカットを食べたいっていう人はいないです。あるから来るだけなんです。やっぱり別に行くんです。売り込みもしてないし何もしてないんだと思います。これは一つの例ですけど、まず税収を増やすと考えていただかないと町は潤わないと思います。以上です。

町長

先ほどもこちらの方から歳入を増やせ、策はどうなのかというふうなことで、ご質問があった内容と重複いたしますけれども、当然今のシミュレーションですと人口減少、それから町税等の減少ということで、こういった数字になっている。それを食い止めるために、2ページにありますようなGDWということを示させていただいており、もちろん人が減るのであれば、個の質と量を増やしていくと、質を増やしていくということつまり、個人の所得を増大させる、また企業の業績を向上していくということをしていかなければならないということで、今取り組んでいるところでございます。そういったところで推進をさせていただきた

い。またふるさと納税に関しましては、県内の中でも町の規模としてはかなりいい成績をとっているのではないかというふうに思っております。これは先ほど申し上げましたシャインマスカット等ではなくてマツコ・デラックスさんが宣伝している無圧布団と無圧枕。これがダントツでございます。毎年約4億円のふるさと納税がございますが、そのうちの半分2億円を稼いでいます。まず先ほど言われたそのシャインマスカットよりも、もちろんこれは地域としても誇れる農産物として、上位の方には位置はしてございますが、農産物も大事ですけれども、比較的安定的に供給できる工業製品の方が注文に対して対応できるということで、できるだけ工業製品にシフトしていくようにという考え方で推進してございます。またふるさと納税に関しましては、最近のメタバースとか、いろんな新しいアイテムができておりますので、本町出身のタカクラカズキさんが、エネルギー（NTF）という新しい芸術作品をですね、インターネット上で作ってるものをふるさと納税としてということで、今、そういったものを増やしております。今ふるさと納税に関しましては、品物で来る方もいらっしゃるんですけども、市川三郷町を応援したいという、そういう方、リピーターが中心となっておりますので、それが先ほど冒頭申し上げましたリンケージ、関係者を増やしていくということが大事になってくると、いうところであります。いろんな歳入も税収以外にですね、そのための手段も今検討を始めているところがございますのでまたアイデア等がございましたら、ぜひ考慮していただきたいなと思います。

参加者

私はですね、昭和57年生まれで1982年で、初老の会をやっております。ここにいらっしゃる先輩方や後輩方はいるんですけども、今年執行部ですね今ちょっとやらさせていただいております、その中でいろんな形で市川を盛り上げようという形で、今年の会長さんが、何しろ市川に対する思いが非常に強いので、私もついていくのが非常にやっとならるんですけどもその中でですね、会長がいろんなことで市川三郷町、ということをやっております、例えばちょっとした打ち合わせ一つ取ってもですね、市川の中でやろうと何か催しを市川でぜひしたいとか、お土産も来賓の方ですね、よくお土産も市川の中で完結させようというような方で、非常に市川三郷町に思いが非常に強いですね。ただ、打ち合わせの中でですね、どうしても場所を中央市のデニーズであるとかですね、そんなことを会長の前で言ったらですね、もう言語道断なんですけど、なにしろ市川の思いが非常に強いですね。それに対してはも

う非常に賛成はするんですけどここにいらっしゃる方もですね、市川に対する思い、非常に強い方が多くて、例年よりも寄付金をその初老の会の寄付金も下げて少しでも多くの方に参加してもらおうと、県外の方、同級生の県外の方にですね、声をかけてみんながそうやって頑張ってくれたら、ぜひ応援するぞと。生まれ育ったね、市川をぜひ応援したいと思ひ、県外の方からもそうやって声をいただいて、会には参加できないですけども、寄付金を応援するということが非常に多くあります。例年に比べると小学校中学校に対しての、寄附金っていうのはおそらく少なくなってしまうのかなと思うんですけども、先日教育長さん方にもご挨拶させていただきましてそれはもうぜひ気持ちだから、その気持ちがありがたいという言葉をしていただいてですね、私も執行部という形でやらせていただいております、やって良かったなと（思います）。ただ、まだまだ道半ばですけども、良かったなと思っております。ちょっと話が長くなったんですけども、今度先日北線を少し、道路拡幅するなんていう事業ということで、向こうにお店屋さんが、私が思うだけで二つほどあると思うんですけども、これ一店の方にちょっと僕聞いたところですね。店どうなるのと聞いたらですね、ちょっと場所がなければやらないかもなんていうこともあったんですね。町でももちろんお店を作ってくれなんてことはもちろん言えないんですけども、例えばこれはちょっと私全然こういう話を全然わからないんですけども、そういうお店屋さんにも場所を新たにご提供するとかを斡旋するなんていうようなことは、できたりするんでしょうか。また、ぜひそういうこと、両方も若い人たちは、私達 41 なんですけども、両方とも私達も同じ世代の人たちがやってるお店なんで、まだまだこれから未来が見込める年代でございますが、ぜひそういうお店を増やしていく、そうすると、お店屋さんがたくさんあると私達家族で食事に行くときにも、どうしても娘が好きな隣のお寿司屋さんに行ってしまうですね。なので市川の町の中にそういうお店があれば、そこで食事することができる。そうすると、我々の小さい家族だけですけども、他の家族の方も出てきて町が活性化するっていうことでもありますんで、今年でちょうど初老という立場でございますので、今年のね第 51 期になります。51 期にですね、会長の思いを強くしてですね、ぜひ成功して、先日も教育長さんから言われたんですけども、52 期 53 期というような形でですね、続けていけるように、これは町は全く関係ないです。初老の関係だけでやってることなんで本当にボランティアだけでやってることなんで、実際関係ないことなんですけども、そういうことからですね先ほどのイベントがあるというお話もありましたけど

も、そういうようなイベントがですね、これから未来続いていけるように、そんなまち作りを期待して行きたいと思います。そんな意見でございます。その北線のお店屋さんのことでちょっとお聞きしたいです。以上でございます。

町長

ありがとうございます。私もそうですね、20年前、初老をしていましたけど、そういう中でまず最初の冒頭ですね、市川に店がないっていうことを懸念されて、私が仕事を始めた頃は、この町は本当に県内でも飲食店の数が人口当たり多いうふうなところで、タクシーで当時親不孝通りに行っていましたけど、タクシー町外の方が乗り付けてお酒を飲んでいたということもリアルに見ていた世代で、そういう中でちょっと町が1世代前に成長しているのかなっていうふうな自分の解釈なんですけれども、その後いろんなところが成長していったっていうふうなそういう北線道路に関してでございます。ここは県の都市計画の中の事業化ということでございまして、今動き出し始めていることであります。これ道路拡幅だけではなくて、町そのものを切り替えていくっていうふうなイメージで、思っただけだとわかりやすいですが、つまり道路が必要な部分だけ用地として県の道路用地として増幅するっていうことではなくて、その町を区画を切り替えていくっていうふうなことなのでこれは町といたしましてもそういう個々の対応はできる限りやらしていただきたいという思い。つまり必要な部分だけ道路になって残りは何とか使ってくださいみたいなそういうことではないということで、近くの空き地や、何か使ってますね、いろんな商業施設、あるいは住宅そういった整備ができるようなことを考えています。これによってですね、新しい家、あるいは新しい店舗ができるようにする、そういう将来展望を持っておりまして、ここにそういう新しいものが建てられるということは、これも固定資産税なんかが上がってくるということで町税の一つにもなってくるということであります。今後そういったことがですね、あの進展していますけれども、町といたしましてもそれは大事なことだというふうに思いますので、しっかり住民の皆様とは、意見交換しながら実施したいと考えております。

参加者

もう30年も40年もお願いしていることです。市川の中央道りの件ですが、そこの一方通行になってしまっている関連で、本当に人通りが少なくなっております。さっきも町長さんがおっしゃったように、あの町が活性化することが計画だからっていうことをおっしゃって本当にそ

の通りだと思います。町長さんそれから町議員の方たちが、あの中央通りで出てください、本当に通りません。車通りません。たまに人が通るぐらいで、そして住んでいる人も減少になっています。もう本当に市川がいかにかびれているかっていうのは、よく分かります。あそこの道路も町長さんが何回も代わって何回も町会議員の方が代わっていろいろとお願いしたですけども、駄目ですよね。いつも不思議に思っております。他のところをさらに直したりすると、大変なお金がかかると思います。ですがあそこの中央通りをただ一方通行の解除しても特にお金がかからないと思います。そして小学生の通学の件ですが、朝8時から帰りは大体3時か4時頃ですが、そのときに子供たちが通るはずですよ。やっぱり子供の命は大事ですから。そこは守ってやりたいと思います。そのときには大人が付き添いで、その帰る時には必ず見守ってっていうふうなことを守った上で中央通りを通れるようにしないと、市川の町はよくなりません。市川の町にお店が建ただけっていうと、建ちっこないじゃんけあんなどこ、とみんな言います。みんなが仮にお金があつて、店をやつて3万か4万円ぐらいだったらやれるかもしれないけども一人でやったらとてもやる気がしないねって言ってました。さっきなんかもおっしゃいましたけども、何かすごい美味しい店屋さんが見てお寿司とかなんかそういうふうなものが出て、そしてそこを皆さんが車や歩いたりして、そんなふうなことでもって、少しでも人通りよくなれば、その町は活性化して収入が上がると思います。今のままでは絶対上がりません。私でもそれは分かります。その点を、町長さんそれから他の人たち、それから町議会議員の皆さん。そのことをよく頭に入れていただき、それでもって一方通行をなるべく早く解除していただきたいと思います。以上です。

町長

中央通りの一方通行についてでございます。これは昼間が一方通行ということで夜については相互通行となっております。そういう関係で道路標識が両方にあるということで、大変わかりづらい表記になっておりますが、これは先ほど申し上げた方が言われたように、通学路になっている関係がございます。車が大変通行するとですね、今の路側帯といえますか、もっと家の方に近づけなければならないということで、歩行者の安全が確保できないということになります。したがって、この中央通りは歩行者を守るために、一方通行をしているというふうになっております。これに関しては、まず私どもとしてはやはり議会でも何度もご答弁をさせていただいておりますが、車の利便性よりも、こちらは安全

の確保の観点からということで一方通行をしているということでご理解をいただきたいというふうに思います。また町の活性化との関係については、これはいろんな考え方がございますので、一方通行だけではなくて、先ほど言われた北線道路の都市計画道路の整備もですね、関係区域というふうなことで、山梨中央銀行の市川支店のところまで文教通りと言われておりますが、あそこまでも計画できるということになってございましてこういった横串を刺していくという考え方もございますので、いろんな道路状況等をですね、考えながら中央通りの利便性っていうのは考えていくことがいいのではないかとこのように思っております。

参加者

時間が押してる中ありがとうございます。まず今そこにあるスライドですが徐々に町長さんの説明であれば、行財政改革も含め、新しいまち作りのビジョンであるというふうな理解でよろしいでしょうか。いいですか。それでその一つ一つの思いが町長の肝いりのプロジェクトだっているというふうな理解でいいですか。であれば、今この説明会の中でたくさんの意見がありました。GDWの方にはそれぞれのプロフェッショナルとあって、これらのことに対してはとても専門的な知識を持つ方もいらっしゃると思うので、ぜひその方々のアイデアをどんどん取り入れる中で町としては提案をしてほしいなというふうに思っていますし、そういう提案出たところ議会でもぜひ将来を見据えて建設的な議論を進めてほしいというふうに思っています。それが一点です。要望ですね。それから私が今、市川中学校の地域コーディネーターっていうものをしています。学校と地域を結びつけて、子供たちの学び活動をいかにするっていう、そういう目的でやっていますが、このスライドの右下の方にふるさとキャリア教育の推進っていうのがあります。ふるさと教育やエリア教育を推し進めるという意味だというけれども、私もそれに関わっていますが、今年中学2年生で職場体験を企画しました。町の商工会に協力をお願いしたところ、町の商工会でも将来の町を支えて作っている人材育成っていうそういう観点からぜひ協力するよという形で、事業所の方に呼びかけをしてくださってたくさんの事業所が中学生の職場体験に協力して行なってくれることになりました。教育を学校だけとかあるいは家庭に任せるんじゃなくて、行政やそれから産業界、地域住民に、学校が一体となって子供たちの豊かな教育や成長を支えることで、この町に愛着を持ち例えば大学は東京の大学出たとしても、お世話になったこの町で、自分がこの町の発展のために貢献したいというような思いを持

つ子供たちを育てることは、長期的に見て、非常にいい戦略だなど。です。最初で言うと短期中期編が戦略に対しては、専門家の意見を交えながら、いいアイデアを出してほしいし、長期的な戦略としてはやっぱり人材育成に力を入れていって、将来のこの町をもっと盛り上げられるような、そういう子供たちをみんなで育ててくるとそういうような町にしてほしいなという思います私自身も一生人として自分ができることは限られるかもしれませんが、頑張っていきたいなと思ってます。よろしくをお願いします。

町長 ありがとうございます。いろんなプロフェッショナルの活用はどうかということであったかと思えますけれども先ほどの広報誌もお母さん方でどうかなんていう話もありました。非常にこれいい会だったというこれをきっかけになんか新しいなんていうか新しい企画ができればな（思い）って思いました。それから先ほどの方もそうですし、ふるさとキャリア教育ですね。これは成果としてやはり郷土愛を育むっていう部分の意味だと思います。大東建託の住み続けたい街ランキング、市川三郷町が昨年2位で、今年も4位なんですね。その中の項目で郷土に愛着があるっていうこと、それから郷土を誇りに思う、がダントツに高いです。やはりこれは先生方が進めているふるさとキャリア教育の成果であったり、あるいはこの地域にある伝統文化、それが地域の中でそれぞれ本当に受け入れられているというふうに思います。もちろんそれを大事にして、この地域人材を育成していくということは大事だと思います。

総務課長 はいご提案ありがとうございます。まさに町長がおっしゃった通りで地域の皆様と協力して、これからのまち作りを進めていきたいと思っておりますし、これまで学校教育として市川大門から市川三郷町となっておりますが、続けてこられた教育をさらに推進しながら、我々とともに図っていただければなというふうに思いますし、できる限り我々も支えていただきながら進められたらいいなと思いますのでよろしく願いいたします。

参加者 1 ページのところちょっと町長が給付型から公共支援型に切り替えたということで、バラマキを止めてみんなが使えるようにということを目指しておっしゃったと思いますが、「バラマキ」という表現は不適切だと思いますので、今後こういう公の席で発言するときは「バラマキ」という表現は控えてほしいって思いました。高齢の方々は今まで市川三郷町

を支えてきてくださった方々なので、その方々を長寿ということで、敬っての給付だと思しますので、それを単に「バラマキ」という表現はちょっといかなものと思しますのでぜひよろしくお願いします。あと、公共支援型という表現が町長が示すビジョンの中でもあります、その公共支援型の中身が非常に具体性にかけると思います。何を指して公共支援するのかみんなが使えるから公共支援であれば学校は減らせないと思うんですね。学校や図書館や庁舎が外せないと思うんですが、実は一番最後の14ページにありますように、施設集約がされてないまま人口が減っているのに、施設の集約が一步進んでないっていうのと、相反することですよね。客観的に見ると。だけど、だからその施設をいずれ集約しなければならないときが来ると思うんです。ただそのときの判断基準として、ただお金がかかるからやめるとかではなくて例えば図書館だったら利用者数が増えないとか学校だったら児童数が減少しているとか、そういうある程度数字的な根拠を持ったことです。住民に説明ができる形で施設の集約を図っていただきたいと思います。

町長

はい、ご指摘ありがとうございます。はい、今後この言葉は控えさせていただきます。また財政面だけで学校統合とかそういう施設総合ということではなくて、それはしっかりとした考え方というのはあると思います。もちろんそのやっぱり子供の教育ってのは大事だと思いますので、小規模校には小規模校のメリットデメリットがあったり、大きい学校には学校のメリットデメリットがあったりということで、そういったことは今後しっかりとこの検討会の中に入ってですね、進めていくというふうに考えております。単に財政面でここをこうしていくっていうそういう提案はありえないというか、もちろんしっかりとした根拠もありますし、考え方もそういう教育の観点から考えてもちろんその財政の財政であるですけれども、いろんな観点から考えてこうしていきたいというふうな考え方向性になるのかと思います。

参加者

はい。ありがとうございます。

参加者

現在の障害ある方の雇用を、甲府と笛吹で約100名行っておりまして、元々ネット販売事業をされており、ふるさと納税で僕と甲府と笛吹で事業者として約自治体3億円の寄付を集めております。ぜひ市川三郷町のお力になりたいと思っておりますので発言させていただきたいと思ます。二つ質問がありまして、ちょうどスライドにあるところなんですけ

ども、ふるさと納税の収入についてです。町長が長く愛されてるっていうところで僕はすごい素晴らしいなと思っております。ただ、まだまだ非常にポテンシャルがある自治体というふうに感じております。その中で、先ほど外貨を増やすっていうお話もあったと思うんですけど、その中では重点企業としてであってもいいのではないかなというふうに考えております。その中で実際ふるさと納税の収入の計画見込みだったりとか、またそこからリンケージ人口の人口拡充をどのように計画されているのかっていうのを伺いたいです。もう一つが、これも重点事業にあるんですけども、農業の高収益化と面展開についてです。ここはどのようなものを考えているのかっていうところと、あと市川三郷町が高齢化というところが問題だと思ってその辺、担い手等についてもどのように考えているのか伺いたいです。

町長

ふるさと納税の計画についてでございますけれども先ほど4億円というのを申し上げました。これずっとなんていうか、変動がなくてですね、ずっと維持してるような感じでこれをどうしていくかっていうのは先ほども申し上げた通り、アイテムを増やしていったりいろんなチャレンジはしているんですけども、なかなか伸びが出てこない、実績に伴ってないということでもあります。これは計画的には行い、相手があることだとなかなか難しい部分があるということ、また総務省の基準が今回変わったなんていうこともございまして、いろんな状況の中で対応をさせていただいております。先ほども言いましたように、エネルギー（NFT）という新しい芸術インターネット上の芸術なんかも取り入れたりしていくということでもあります。本当に試行錯誤の中でやらせていただいているところでございます。また農業の高収益化に関しましてはですね、市川三郷町ご存知のようにスイートコーンの甘々娘や大塚にんじんなどいろんな素材がございます。これも実は大塚地区だけでありまして、これをやはり町全体に広げていければというふうなことを考えておりますが、またいろんな応援をしてくださる企業や個人などか今接点が何件出てきております。そういった中でアドバイスをいただいたり、お手伝いいただいたりする中で、まず具体的なことができればまたご提案させていただいて進めていきたいなど。ちょっと具体性に欠けるんですけども、本当に今そういったことで進めているところです。

参加者

はい、ありがとうございます。いいですか。感想を言います。はい。すいません。僕自身今回の町が行った財政非常事態宣言っていうのは、

素晴らしい決断だったんじゃないかなというふうに思います。多くの批判と覚悟がある中で、市川三郷町の未来に対して勇気ある決断だったのではないかなというふうに僕は思っています。また、先ほどの内外から市川三郷町見てるとお伝えしたんですけども、今日集まっている町民の皆様、皆様方、責任ある発言だったりとか、行動、これ本当素晴らしいなというふうに思いました。ここにおられる皆さんがこの市川三郷町っていうのを作っていたんだなっていうふうなのを感じることができて、なんか若い世代代表として、これをしっかり何か続けていかないといけないなというふうに感じました。ですので何か私自身が今まで培った知識だったりとか、ノウハウなんかそういったものをぜひ市川三郷町で発揮できたらいいなというふうに考えます。最後にごめんなさい最後町にお願いなんですけども、ぜひ明確なビジョンを持ってまち作りをしていただければなというふうに思います。どんな町にしたいのか、それがより明確であればあるほど力を発揮すると思いますし、町民の力もより発揮されるというふうに考えております。私もぜひ頑張りますので、一緒に何かふるさと自慢市川三郷町作ることができたらなというふうに思っております。以上です。

参加者

はい、申し訳ないですありがとうございます。貴重なお時間いただきまして、先ほどムラマツ副会長の方からありましたけれども、今年初の初老の会の会長をしております市川地区のイチノセと申します。すみません先輩方がいる中で発言させていただいて、よろしくお願ひします。質問ということで質問したかったんですけどももうかなり多くのご回答をいただいたので、私ちょっと気になったのは、その2ページにあります、町民所得向上ということで、具体的にどういうところで私達の給料が1人上がっていくのかなっていうところ、その中で重点事業何になるのかな、とか思ってたんですけど、もっともっと踏み込んできてたらありがたいなと思っておりました。ただ、本当に私市川が大好きでして、初老の会もすべて市川で、という思いの中で、今年務めさせていただいております。ちょっといくつかあつて申し訳ないんですが、先ほどの北線の話なんですけれども、例えばその住民と意見交換だけではなくって、県と交渉みたいなことはできないでしょうか。県との交渉、少し広げるので、その分何か県から予算をいただくということみたいなそういった掛け合いのことって可能なのかどうなのかっていうのは、ちょっと知りたいところでありました。あと、ホームページの話がちょっと出たので、あのふるさと大使が結構いると思うんですよ。私の妹もふるさと

大使なんですけど、なんかイラストとかあったとおもったんですけど、ふるさと大使に協力を依頼するのもいいのかなと思って聞かせていただきました。あと農業についてなんですけど、もし可能であれば、農薬を使わない体に安心安全なものを、良いものを作って行ってそこに付加価値をつけていくみたいなのところがいいんじゃないかなというふうには思っております。話したいこといっぱいあるんですけど、町長の遠藤町長の話の中に、あの町を一つの会社と見立ててっていう話があったんですけど、そしたら我々1人1人町民は何になるのかなって思ったのと、子供たちは何になるのかなと思ったんですよ。一つの会社ってなったとき、それご回答いただきたいなと思うんですけど時間がなさそうなので、もしできれば町長の社長であれば、子供たちは社長の息子、娘みたいな感覚で捉えていただけるといづれ戻ってこいよみたいないづれお前が背負うんだよというところで、ぜひ子供たちの教育を大事にしてほしいなと思うんですよね。それで先ほどちょっと今いらっしゃらないですけど、話し合ったんですけど次学校は残してほしいというのが切なる思いですけど、確かに経済が難しいという話もさっきあったので、(今はもう)ないですけど、私は市川高校が母校なんですけど、なくなったときのショックは衝撃的でした。それが私大人になってからでしたけど、子供たちが小さいときに自分の学校や保育園がなくなったっていうトラウマに近い思いを経験させると果たしてその後、町に戻ってくるのかなと思うんですよね。やっぱ自分の地域が地域で安心安全に楽しく過ごす楽しかったというような、自分の願望があるっていう状況がまた戻ってくるそのためには町民を増やしていかなきゃならないんですけど、ぜひそこ私ちょっと思ったのは、町は一つの会社ではなく、大きな家族として捉えてもらって、町にいる子供たちを含めて皆が帰る場所であってほしいなと。心から願っております。お時間いただきありがとうございました。

町長

すいません。いろいろご提言いただきましてありがとうございます。ふるさと大使の方にご協力をいただいとということでございます。本当に今回ですねいろんな方がお手伝いといたしますか、何かしたいということでご連絡をいただいております。その中にも、あと観光大使の方の活動も、ございます。本当に話をしたいというふうに思いますけれども、まだただ具体的には何をすることはまだ決まっておられません。けれども、何か形として残していきたいと思っております。一つの会社に見立ててってことを一つの大きな家に例える、確かに人間関係といいます

か、人と人の付き合いが一番大事だというふうに思いますので、またそういうイメージですね、考えながら、方向性みたいなことは、示させていただきたいなと思っております。いろんなご意見をいただきました。また整理をさせていただいてですね、回答とさせていただきたいなと思います。

(5) 閉会 午後 9 時 50 分